

児童室だより No.52(2005.7発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>「さかなのかたち」</p> <p>ともながたろ え なかのひろみ ぶん アリス館 2005.2 【小中～小高】</p>	<p>いろいろな形のさかながいる。ざぶとんみたいなアンコウタイプ、まるくまとめたフグタイプ...どれもただししい魚のかたち、それぞれのライフスタイルにふさわしい設計なのだ。魚の形や色、模様とその特長、暮らし方を紹介。くっきりしたカラーのイラストで形の特徴がわかりやすく、一風変わった切り口の解説も面白く読 (J487-ナカ-8665475)</p>
<p>「三河のエジソン」</p> <p>障害を克服する自動具の発明家 加藤源重</p> <p>今関信子文 佼成出版社 2005.4 【小中～】</p>	<p>愛知県の額田町で、障害をもった人のための自助具を作る福祉工房を営む加藤源重さん。人呼んで「三河のエジソン」。源重さんの生き方や発明品の数々を紹介するノンフィクション。右手が突然不自由になった経験から、自分でできることのありがたみを痛感した源重さんは、同じ思いをする人のための発明と工夫を今日も (J369-17-8682458)</p>
<p>「8本あしのゆかいな仲間クモ」</p> <p>谷本雄治文 つだかつみ絵 くもん出版 2005.3 【小中～】</p>	<p>アンケートをとってみると、クモが嫌いという人が多い。こんな嫌われ者のクモって一体どんな生き物なんだろう？毒グモという印象が強いけど実は99%のクモは毒がない、糸と風を利用して飛ぶことができる、などクモの生態をわかりやすく解説。巣の張り方や糸の意外な強度、クモが環境におよぼす影響など、興味深い (J485-タニ-8677082)</p>
<p>「いろいろたまご図鑑」</p> <p>ポプラ社 2005.2 【小中～小高】</p>	<p>虫とクモ・鳥・淡水の生き物と両生類、は虫類・海の生き物・土の中の生き物、5つのジャンルに分けて、それぞれの卵と生態が、写真と解説で紹介されている。たまごを中心にしているが、その成長過程も写真で見られる。ふだん見慣れたたまごから、とてもたまごに見えない意外なものまで、約180種類を紹介した、 (J480-10-8662553)</p>
<p>「あめあめふれふれもっとふれ」</p> <p>シャーリー・モーガン文 エドワード・アーディゾーニ絵 のら書店 2005.5 【小低～】</p>	<p>まちじゅうに、あめがふっていました。もう三日もふりつづいていて、おんなのことおとこのこは外に出たくてたまりません。雨のふる外をながめて、ふたりは色々な想像をふくらませます。ながぐつをはいて小川のなかをばしゃばしゃ歩いたら...もしわたしが小鳥だったら...静かな絵と言葉のリズムがこちよい、やさし (J933-モカ-8701384)</p>
<p>「ふしぎな笛ふき猫」</p> <p>民話・「かげゆどのねこ」より</p> <p>北村薫文 山口マオ絵 教育画劇 2005.2 【小中～小高】</p>	<p>その昔、安房の国にかげゆどんという笛好きの名主がいた。いつもシロという飼い猫をひざにのせて、大好きな笛を吹いていた。ある年、かげゆどの村では天気が悪くお米があまりとれなかった。でもねんぐのとりたてはいつもどおり。かげゆどんは困ってしまった。かげゆどんが名主の会議に出るため宿にとまっている (J913-キタ-8670896)</p>

<p>「はばたけ！ザーラ 難民キャンプに生きて」</p> <p>コリーネ・ナラニィ作 トム・スコーンオーヘ絵 鈴木出版 2005.2 【小高～YA】</p>	<p>ザーラは家族と共にイラクの難民キャンプで くらす10才の女の子。一家はザーラがまだ赤 ちゃんの頃にイランから逃れてイラクへやって きた。今はすっかりキャンプのくらしになじん でいるが、体の弱い弟がヨーロッパで手術を受 けることになり、一家の生活は一変する。イ スラムの風習やキャンプでの生活がいきいきと (J949-ナラ-8666140)</p>
<p>「メープルヒルの奇跡」</p> <p>ヴァージニア・ソレンセン著 ほるぷ出版 2005.3 【小中～小高】</p>	<p>「メープルヒルはあらゆる奇跡がおこる場 所」。母親のこの言葉を信じてマーリーの一家 はメープルヒルにやってきました。戦争で心に 深い傷をおった父親を元気にしたいという願い から...メープルヒルの大自然と、クリス夫妻と の暖かい交流に一家は慰められ、父も徐々にも との自分を取り戻していきます。1957年の (J933-ソレ-8688970)</p>